

使い捨てタイプのトング開発

ブッフエ料理や大皿料理の取り分けに

【北原産業】



代表取締役
北原忠氏

「TONGGOO」（トング）を発売した。手に持つ時の向きを変えられることで、

トングは開いた状態で納品され、根元の部分にある凹凸を嵌めるだけでトングと同じ形状に組み立てられる。先端の挟み部分には滑り止めのための小さな突起が複数あるほか、先端部分の角度を変え、

北原産業（岡山県倉敷市）は5月、食品を挟んで掴む道具・トングの使い捨てタイプ

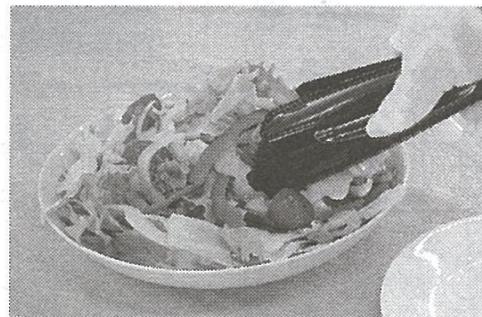
先端の中央にも小さな凹凸があり、小さいものや薄いものを挟んだ際のズレを防止する。

また、柄の部分にくぼみがあることで力が入れやすくなる。パスタのような滑りやすい料理も掴むことができ、

また、柄の部分にくぼみがあることで力が入れやすくなる。パスタのような滑りやすい料理も掴むことができ、

素材はプラスチック製で、軽量ながら強度があり、組み立ても簡単。何より使い捨てで衛生的に使うことができることから、ブッフエレストランの利用客に一つずつ配布したり、大皿料理を取り分けるために用意したりと、

製品は外寸201×137×25mm。1ケース960個入りで販売する。特許・意匠・商標出願中だ。



▲形状にもこだわりが

大きさが異なる料理も取り分けられる。

用できる。

レストランの他にも、

素材はプラスチック製で、軽量ながら強度があり、組み立ても簡単。何より使い捨てで衛生的に使うことができることから、ブッフエレストランの利用客に一つずつ配布したり、大皿料理を取り分けるために用意したりと、通常のトングが使われていたシチュエーションでの代替品として活用されることを想定している。